

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	S-612B
S/N	
お買い上げ年月日	保証期間
対象部分 機本体(消耗部は除く) お買い上げの日から1年	
お客様住所	様
TEL.()	
販売店	店名・住所 上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
(ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
(ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ)本書のご提示がない場合
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(チ)付属品や消耗品等の消耗による交換
(リ)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金

- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。



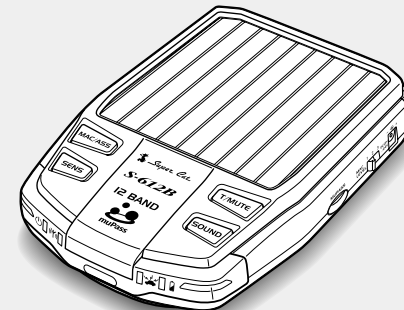
サウンド書きかえ機能付12バンドレーダー探知機

S-612B

取扱説明書

12V/24V車対応

このたびは、スーパーキャットのレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、スピード取締り機の前もってお知らせする受信機です。



目次

はじめに

安全上のご注意	2
各部の名称と働き	4
電源について	6
取り付けかた	8

使いかた

レーダー編	
音量/警報音/受信感度を設定する	9
MACシステムの使いかた	11
ASS機能について	12
便利な機能について	12
iDSPについて	13
カスタム・アラーム機能について	14

無線編

12バンド受信機能について	14
---------------	----

muPass編

サウンド書きかえシステムについて	19
------------------	----

その他

取締りのミニ知識	24
取締りレーダー波を受信しにくい場合	25
仕様	25
故障かな?と思ったら	26
アフターサービスについて	27
保証書	裏表紙



muPass/サウンド書きかえシステム 19ページ



12バンド受信機能 14ページ



カーロケ遠近識別+圏外ボイス通知 18ページ



ベスト・パートナー機能 18ページ



S-EXTRA/スーパーエクストラ感度☆☆☆☆☆ 10ページ



iDSP 13ページ



カスタム・アラーム機能 14ページ



自動制御機能/ローバッテリーアラーム 7ページ



ユビテルity.クラブ登録特典 19ページ

ご愛用者アンケートにご協力ください

携帯(iモード/Vodafone live!/EZweb対応)またはパソコンから、お答えください。

- 「メール会員登録」をしてください。(登録無料)
- 宛先に「yupiteru@mo-on.com」、件名または本文に『会員』と入力し、メールを送信してください。
- しばらくすると、確認のメールが返信されますので、登録画面にしがって、必要事項を入力してください。

※ 迷惑メール対策で、ドメイン指定受信を設定されている方は、弊社からの確認メールのために、「@mo-on.com」からのメールを受信できるように設定してから、メールしてください。



宛先	yupiteru@mo-on.com
件名	
会員	
本文	
会員	

ユピテル工業株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

R100



※ この印刷物は、環境にやさしい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⊘ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

⊘ 水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

⊘ 機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ 運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

❗ 取り付けは、自動車の運転や視界の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

⊘ 警報したときに慌ててブレーキをかけたりしない…走行中に急ブレーキをかけたりすると大変危険です。

⊘ バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

⊘ 医用電気機器の近くでは使用しない…植込み型心臓ペースメーカや、その他の医用電気機器に電液による影響を与える恐れがあります。

⊘ 助手席エアバックの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバックで本体等が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグ使用時に配線が妨げとなり、エアバックが正常に動作しないことがあります。

シガープラグコード接続時

❗ シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよくふく…接触不良を起して火災の原因となります。

❗ シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

⚠ 警告

シガープラグコード接続時

❗ シガープラグは確実に差し込む…接触不良を起して火災の原因となります。

⊘ ぬれた手でシガープラグの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。

⊘ 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。

⊘ 表示された電源電圧車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

⊘ 煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

⚠ 注意

シガープラグコード接続時

⊘ 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

❗ 取り付けは確実に…落ちたりして、ケガの原因となります。

❗ 車から離れるときは、電源を切る…本機はオートパワーOFF機能を搭載していますが、使用しないときは電源を切ってください。また、シガープラグコードを接続している場合は、エンジンを止めても、シガーライターソケットに、常時電源が供給される車種がありますので、ご使用にならないときはシガープラグを抜いてください。

⊘ シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。

⊘ お手入れの際は、シガープラグを抜く…感電の原因となります。

本機を取り付けてのスピード違反に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

日頃から安全運転をお心がけください

このレーダー探知機は、取締りレーダー波の存在を前もってお知らせする受信機です。レーダー方式以外の赤外線や光電管式、ループコイル式などのスピード測定装置には反応しません。また、電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輛通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。「いつも鳴るから」と安心せずに注意してください。

※ 探知距離は、走行環境、測定条件などにより変わることがあります。

各部の名称と働き

本体

UHF/VHFスイッチ [UHF/VHF]
無線10バンド受信機能の設定/解除を選べます。
(14、15ページ)

電源スイッチ [PWR]
ONにすると電源が入ります。(9ページ)

MAC/ASSボタン [MAC/ASS]
MACシステムの設定/解除ができます。
MACシステムをONに設定すると、自動的に
ASS機能が働きます。(11ページ)

音量ツマミ [+ VOL -]
警報音の音量調節ができます。(9ページ)

受信感度セレクトボタン [SENS]
MACシステムを解除しているときは、走行環境や
条件に合わせて受信感度が選べます。(10、15ページ)

パイロットランプ []
電源が入ると点滅します。
また、警報の状態をランプの色で表示します。(11、12ページ)

感度ランプ []
受信感度をランプの色で表示します。(10、12ページ)

※パイロットランプ&感度ランプ
：[ソーラーモード⇒点滅] [ハイブリッドモード⇒点灯] となります。

ボイスランプ
ボイスやメロディが鳴るときや書きかえ時に点灯(点滅)します。

レーダー波アンテナ (前面)
取締りレーダー波を受信します。

DCジャック [DC12V/24V] (12V/24V車対応)
付属のシガープラグコードを接続します。(6ページ)

MACレベルスイッチ [MAC LEVEL]
MACシステムの振動の検出感度の調整ができます。(11ページ)

ミュースボタン [MUPASS]
muPassにより、ボイスやメロディを書きかえるときに使います。(21、23ページ)

テスト&ミュートボタン [T/MUTE]
警報音の確認やミュート機能を使うときに押します。(6、9、12、15ページ)

警報音セレクトボタン [SOUND]
取締りレーダー波受信時の警報音が選べます。(10ページ)

バッテリーランプ []
テスト&ミュートボタンが押されている間はバッテリーの
残量を表示し、バッテリーが消耗してくると点滅します。(7ページ)

UHF/VHFランプ []
無線10バンドの電波を受信したとき緑色に点滅します。
(15、16ページ)

アラームランプ
取締りレーダー波を受信すると赤く点滅/点灯します。(14ページ)

赤外線送受信部
携帯電話との通信の際、赤外線信号を送受信します。

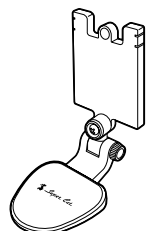
付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

●専用ニッケル水素電池(1)

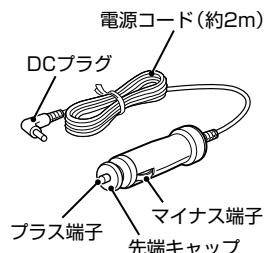


●ダッシュボード取付用
ブラケット(1)



●マジックテープ(1)
●muPassマンガ取扱説明書(1)
●取扱説明書・保証書(1)

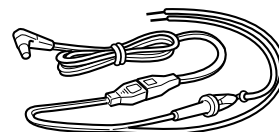
●シガープラグコード(1)



別売品のお知らせ

■電源直結コードOP-4(約4m) 1,575円(税込)

シガーライターソケットを使わずに、アクセサ
リー系端子から直接電源をとることができます。

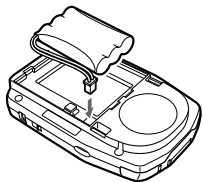


■交換用ニッケル水素電池 2,100円(税込)

本電池は本機専用です。

ソーラーバッテリーからの充電のしかた

- 1 付属の専用ニッケル水素電池を接続する
本体底面のソケットにコードのプラグを差し込みます。



本機はソーラー電卓などと違い、ソーラーバッテリーのみでの駆動はできません。専用の充電電池を接続して、初めて正常に動作しますので、必ず接続してください。ソーラーバッテリーは専用の充電電池を補充するためのものです。

- 2 ソーラーバッテリーに太陽光がよく当たる場所に取り付ける

駐車するときは、ソーラーバッテリーに直射日光がよく当たるように、南向きに駐車するように心がけてください。効率の良い充電ができます。

本機はシガーライターソケットからの充電・使用に加え、走行中や駐車中でも、ソーラーバッテリーによる太陽光からの充電ができます。

ただし、初めてご使用になるときは、付属のシガープラグコードを接続し、必ず合計10時間(例 1日2時間 5回)以上、走行しながら充電してください。

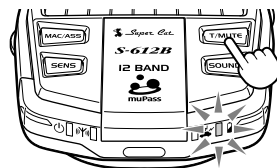
シガーライターソケットからの充電のしかた

- 1 付属の専用ニッケル水素電池を接続した状態で、付属のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2、3回左右にひねりながら差し込みます。



10時間(例 1日2時間で5日)以上使いながら充電した後、シガープラグコードを抜いてテスト&ミュートボタンを押し、バッテリーランプが緑色に点灯することを確認する(➡7ページ)



- ・本機はDC12V/24V(マイナスアース)車対応です。
- ・シガープラグコードで充電する場合、ローバッテリーアラームが鳴った状態から、約10時間でフル充電できます。
- ・シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- ・シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。
- ・シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
- ・一部の車種においては、シガープラグの形状が合わないことがあります。その場合は、別売のOP-4を使用してください。(➡5ページ)

警告

- ！ 助手席エアバックの妨げとなる場所に配線しないでください。電源コードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

- 満充電から無警報の状態、約130時間*の連続使用ができますが、薄曇りなどの天候が続き、ソーラーバッテリーからの充電が充分でなかったり、バッテリーの消耗が激しく、130時間以内にローバッテリーアラーム(バッテリーランプが赤色に点滅)の状態になることがあります。
※連続使用時間は、無線機能がOFFの状態の場合です。
この時間は警報の頻度などにより異なりますので、目安としてお考えください。
- 付属の専用バッテリーには寿命があります。充電が充分でなくなったら、新しいものと交換してください。(寿命の目安としては、約3～5年ですが、3年以内でも劣化することがあります。)
- 交換については、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

バッテリー表示機能について

■ローバッテリー表示について

初期充電不足や太陽光が当たらない条件下での使用が続きバッテリーが消耗してくると、バッテリーランプが点滅し、ローバッテリーアラーム(㊦) プブッ プブッ...が鳴り出します。このようなときは充電が必要です。付属のシガープラグコードを使い、充電してください。

バッテリーの状態	バッテリーランプ
バッテリーが消耗し、充電が必要な状態	赤色点滅(2回点滅)
バッテリーが消耗し、すぐに充電が必要な状態 (全ての機能が動作しなくなります)	赤色点滅(3回点滅) ローバッテリーアラームが鳴ります(約1分間)

- ・日中はバッテリーランプの赤色の点滅が見えにくい場合がありますので、ご注意ください。

●オートパワーON/OFF機能について

アイドリングなどの振動の少ない状態(停車中)や、エンジンを切ったときなど振動のない状態(駐車中)が約3分間以上続くと、自動的に電源が切れます。また、振動を検出すると電源が入ります。

- ※ 振動や騒音の激しい場所では、わずかな揺れを検出して電源が切れないことがあります。
- ※ 走行中でも、低速走行や一時停止など、振動を検出できない状態が約3分間続いた場合にはオートパワーOFF機能が働きます。

冬期は、日照時間やソーラーバッテリーの性能上、充電しにくく、バッテリーアラーム表示がひんぱんになる場合があります。このようなときは、シガープラグコードを使用し、こまめに充電してください。

■バッテリーの残量表示について

シガープラグコードを抜いた状態でテスト&ミュートボタンを押している間、バッテリーの残量を表示します。

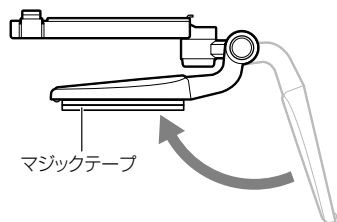
バッテリーの状態	バッテリーランプ
残量が充分な状態	緑色点灯
少し消耗した状態	オレンジ色点灯
充電が必要な状態	赤色点灯

- ・シガープラグコードをDCジャックに差し込んだ状態では、バッテリーの残量表示はしません。
- ・電源がONの状態になっても、数分間はバッテリー残量を正しく表示できないことがあります。
- ・温度が極端に高いところまたは低いところでは、バッテリー残量を正しく表示できないことがあります。

取り付けかた

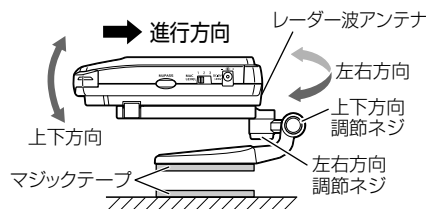
ダッシュボードに取り付ける

1 ブラケットに付属のマジックテープを貼り付ける



- レーダー波アンテナの前に他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこないような場所に取り付けてください。
- あらかじめ、貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。
- 使用中、本体が傾くような場合は、ネジの締め付けを行ってください。

2 本体を道路に対して水平に、またアンテナが進行方向(前方)を向くように、角度を調整する

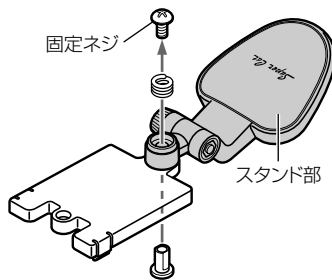


⚠警告

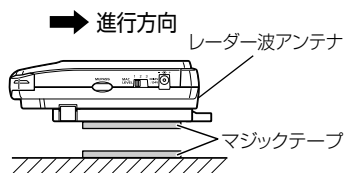
- エアバックの上に取り付けしないでください。万一のとき動作したエアバックで飛ばされ、事故やケガの原因となります。
- 自動車の運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

ダッシュボードに直付けする

1 ブラケットの固定ネジをはずして、スタンド部をはずす



2 取り付けたとき、本体が道路に対して水平で、アンテナが進行方向(前方)を向くことを確認し、付属のマジックテープで、ブラケットをダッシュボードに貼り付ける



⚠注意

- 取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります。
- 上下方向の角度を調節するときは、必ず上下方向調節ネジをゆるめてから行ってください。破損の原因となります。

●本機はフレキシブルブラケットを採用しています。【特許出願中】



音量/警報音/受信感度を設定する

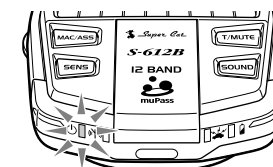
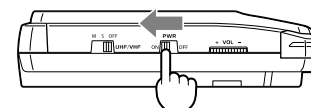
つづく

1 電源を入れる

電源スイッチをONにします。

『電源ONです』とターン・オン・ボイスが鳴り、パイロットランプが点滅します。

■ ターン・オン・ボイスの『電源ONです』は、muPassにより好みのボイスに書きかえられます。(➡19ページ)



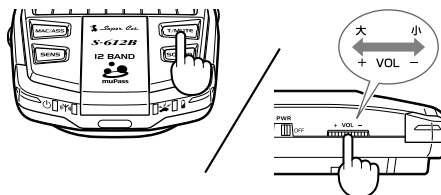
2 音量を調節する

テスト&ミュートボタンを押しながら、音量ツマミを回します。

テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が止まります。(➡12ページ)

テスト&ミュートボタンを押している間はテストモードとなり、警報音(電子音、メロディまたはボイス)を確認することができます。

一旦テスト&ミュートボタンを放し、1秒以内に再度押すと、次の手順で警報音や音声の確認ができます。



警報音(電子音、メロディまたはボイス)

↓ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

『ステルスです』『Hシステムです』

↓ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

『ビビビビッ トラップ 受信しました』
 『ビビビビッ カーロケ遠方受信です』
 『ビビビビッ カーロケ近接受信です』
 『ビビビビッ デジタル 受信しました』
 『ビビビビッ 特小 受信しました』
 『ビビビビッ ヘリテレ 受信しました』
 『ビビビビッ 署活系 受信しました』
 『ビビビビッ レッカー 受信しました』
 『ビビビビッ 消防 受信しました』
 『ビビビビッ 消防ヘリテレ 受信しました』
 『ビビビビッ 救急 受信しました』
 ※UHF/VHFスイッチがOFFのときはボイスはありません。

↓ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

『ビビビビッ スピード注意』
 『ビビビビッ ビービー 遠ざかりました』
 『ビビビビッ ビビビビッ トラップシグナル』
 『ビビビビッ ビビビビッ チェックポイントシグナル』
 ※UHF/VHFスイッチがOFFのときはボイスはありません。

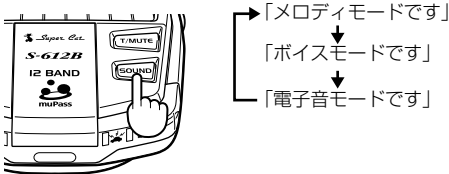
↓ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

3 警報音を選ぶ

警報音セレクトボタンで切り換えます。
ボタンを押すたびに、ボイスで確認できます。

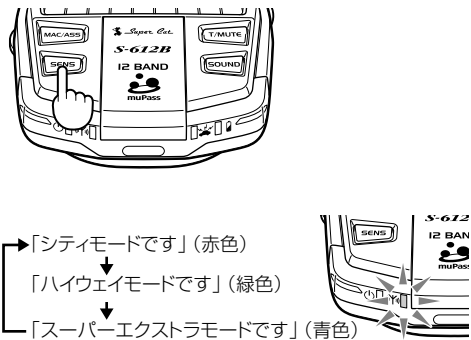
- ・カスタム・メロディ・アラーム
「メロディ」に設定すると、『ボレロ』で警報します。
- ・カスタム・ボイス・アラーム
「ボイス」に設定すると、『ピンポン ピンポン』のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。

❏ カスタム・メロディ・アラームの『ボレロ』や、カスタム・ボイス・アラームの『スピード注意』は、muPassにより好みのサウンドに書きかえられます。(➡19ページ)



4 受信感度を選ぶ

受信感度を変えるときは、MACシステムがOFF(解除)のときに(➡11ページ)、受信感度セレクトボタンを押して切り換えます。



ボタンを押すたびに、ボイスと感度ランプで確認できます。

※ MACシステムがON(設定)のときに、受信感度セレクトボタンを押すと、ASS(最適感度選択)モードからスーパーエクストラモードとなります。再度押すと、ASSモードに戻ります。

『スーパーエクストラモードです』(青色)
↑
『スーパーエクストラモードOFFです』

受信感度について

受信感度が高いほど、遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じほかの電波も受信してしまいます。
走行環境や条件に合わせて、受信感度を選びください。
また、受信感度が高いほど、新Hシステムなどの受信には有効となります。

■受信感度の切り換え(マニュアル)

	受信感度	走行環境や条件
高い ↑ 低い	スーパーエクストラモード	高速道路
	ハイウェイモード(エクストラ感度)	郊外や高速道路
	シティモード	市街地

MACシステムの使いかた

MACシステムは、内蔵のモーションセンサーが走行中のロードノイズなどの連続的な振動を検出して、走行中か停車中かを判断し、警報を制御します。[MAC/不要警報カット：特許 第3121768号]
MACシステムはOFF(解除)の状態では、電波を受信すると停車中でも警報音が鳴ります。

1 アイドリング中に電源ONの状態を確認する

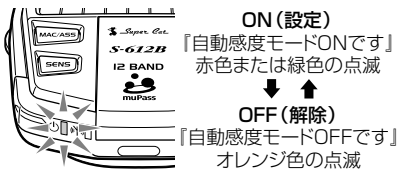
- ・専用充電電池を接続した状態で、パイロットランプの点滅を確認します。
- ・「警戒モード」は解除の状態を確認します。

2 MACボタンを押してONにする

パイロットランプが赤色または緑色の点滅の時は、ON(設定)の状態です。
パイロットランプがオレンジ色の点滅のときは、OFF(解除)の状態ですので、MACボタンを押してONにします。



MACを押すたびに、MACシステムのON/OFFが切り換わり、ボイスでお知らせします。



3 動作を確認する

走行しはじめて、数秒後にパイロットランプが緑色の点滅になり、停車すると、数秒後に赤色の点滅になります。

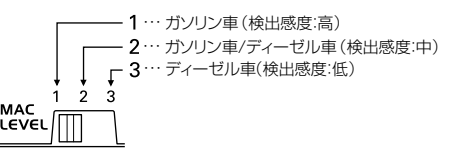
4 調整する

手順3で正しく動作しない場合は、MACレベルスイッチを切り換えてください。

MACレベルスイッチについて

MACシステムは、走行中のロードノイズなどの連続的な振動と、停車中のアイドリングなどによる振動の種類や大きさの差を検出し、動作します。ご使用になる車種や走行状況に合わせてMACレベルスイッチを切り換え、振動の検出感度を設定してください。

■MACレベルスイッチの設定目安



目安として、速度が約30km/hになるまでに、パイロットランプが緑色の点滅になる位置にしてください。

MACの働きによりパイロットランプが赤色に点滅中は警報しません。(取締りレーダー波を受信しません)

・振動が極端に大きな車種や、走行中と停車中の振動に違いの少ない車種では正常に働かないことがあります。そのような車種では、MACシステムを解除してご使用ください。

MACシステムを使用しない場合はMACレベルスイッチは1に設定してください。

・エアコンを使っているときや、カーオーディオなどの音量が高いとき、ワイパーを使用しているとき、エンジンをかけた直後(エンジンが安定するまで)などは、MACシステムが正常に働かないことがあります。

- ・MACシステムがON(設定)で、警報をカットしている状態(パイロットランプが赤色の点滅)でも、無線10バンド受信機能、ベストパートナー機能は働きます。
- ・MACレベルスイッチを切り換えても、振動を検出しにくい場合は取り付けかたや取り付け場所を変えてみてください。

パイロットランプの点滅色と警報動作

MACシステムをON(設定)にすると低速走行/停車中の不要な警報を抑え、さらにASS機能が働いて走行時間の経過に応じて受信感度が自動的に変化します。[ASS/最適感度選択：特許 第3051676号]

	車の状態	停車	走行中 (MACレベルスイッチの設定に応じた既定の振動を超えたとき)	停車
ON(設定)時 MACシステム	パイロットランプ	赤色点滅	数秒 → 緑色点滅 → 数秒	赤色点滅
	感度ランプ	赤色点滅	約20秒 → オレンジ色点滅 → 約60秒 → 青色点滅 → 約120秒 → それ以降	赤色点滅
	スーパーエクストラモード選択時		青色点滅	
	警報状態	警報しない	警報する	警報しない
	受信感度		シティモード → ハイウェイモード → スーパー感度 → エクストラ感度 → スーパーエクストラモード	
OFF(解除)時 MACシステム	パイロットランプ		オレンジ色点滅	
	感度ランプ		マニュアルで設定した受信感度のランプ色点滅。 シティモード(赤色)/ハイウェイ(エクストラ感度)モード(緑色)/スーパーエクストラモード(青色)	
	警報状態		警報する	
	受信感度		マニュアルで設定した受信感度	

警報中は音による振動を感知し、低速走行や、停車しても警報が続くことがあります。このとき、警報をカットする場合は、テスト&ミュートボタンを押してください。(☛ 下記参照)

便利な機能について

オートクワイアット/ディマー機能

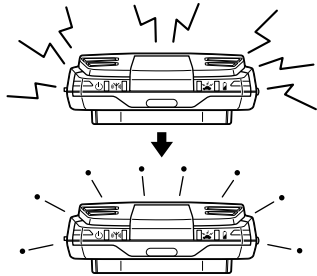
レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなり、アラームランプなどのランプ類も暗くなります。

後方受信

iDSPによる超高精度識別およびスーパーエクストラモードの超高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もしっかり受信します。

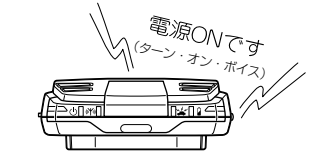
ミュート機能

●取締りレーダー波の発信源の確認ができた
警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。



ターン・オン・ボイス

電源をONにしたときや、オートパワーON機能により電源が入ったとき、確認音が鳴り、電源が入ったことをお知らせします。



●バッテリーが消耗しているときは、ターン・オン・ボイスのあと、しばらくしてからローバッテリーアラームが鳴ります。

本機はiDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal Processing Technology)※により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」や、新Hシステムの「種類の異なる電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して『ステルスです』または『Hシステムです』とボイスでお知らせします。[ステルス識別]/[新Hシステム識別：特許 第3326363号・第3428531号]

- iDSPを解除することはできません。
- iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応というわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

※本機はフリップチップinアンテナ[特許 第3229564号]を採用しています。

ボイス識別

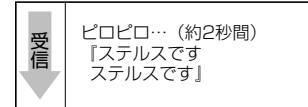
ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要ときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。このため、従来機ではステルス波の識別警報はできませんでした。

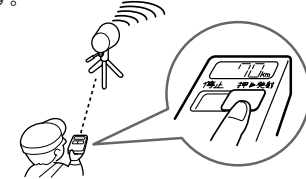
- ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ボイスでステルス波の識別警報することがあります。
- 電子音/メロディ/ボイスのどのモードを選んでいても、ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波の識別警報します。

<ステルス波を受信したとき>

- 専用のボイスでお知らせします。

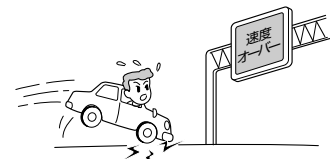


5秒以上受信が続くと、警報音セレクトボタンで選んでいる通常の警報音に変わって警報します。



新Hシステムについて

電波を用いる自動速度取締り機(オービス)の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波(周波数は同一)を使用しているため、従来機では探知(受信)しにくくなります。ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。



※電光掲示板による警告がない場合もありますので、ご注意ください。

<新Hシステム波を受信したとき>

- はじめは選んでいる通常の警報音(ボイス、メロディ、電子音)が鳴りますが、識別するとボイスでお知らせします。

受信	通常の警報音 (ボイス、メロディ、電子音)
識別	ビロビロッ 「Hシステムです」 ビロビロッ 「Hシステムです」…… (受信している間、繰り返し警報します。)

本機は、Wアラーム方式と接近テンポアップシステムの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。

Wアラーム方式

音(電子音/メロディ/ボイス)と光(アラームランプ)のダブルで警報します。

接近テンポアップシステム

各警報は、取締りレーダー波発信源への接近(電波の強弱)に合わせて変化します。

取締りレーダー波発信源との距離	
電子音アラーム	断続音から連続音に変化します。
アラームランプ	点滅速度が変化します。

- ・メロディとボイスはテンポアップしません。
- ・レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。(オートクワイアット/ディマー機能)

12 BAND 12バンド受信機能について

取締りレーダー波のX・Kツインバンドに、無線10バンド受信をプラスし、GPS非搭載モデルで業界最多の12バンド受信ができます。

Xバンド + 無線10バンド = 12 BAND

1. 無線10バンド受信機能について

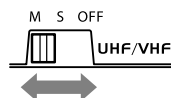
安心して、安全に運転していただくために、無線10バンド受信機能を搭載しました。これらの無線を受信すると、ボイスで警報します。【無線10バンド警報】
なお、これらの無線10バンドは個別にON/OFFの設定ができます。

<無線の受信モードを選ぶには…>

① 受信モードを選ぶ

UHF/VHFスイッチで受信モードを選びます。

※それぞれ設定したモードをボイスでお知らせします。



		無線10バンド	①「取締無線」	②「カーロケ無線」	③「デジタル無線」	④「取締特小無線」	⑤「ヘリテレ無線」	⑥「署活系無線」	⑦「レッカー無線」	⑧「消防無線」	⑨「消防ヘリテレ無線」	⑩「新救急無線」
「OFF」	「無線OFFです」 ・すべての無線を受信しません。		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
「S」	「標準モードです」 ・①「取締無線」と②「カーロケ無線」の2バンドを受信します。 ・2バンド固定で、個別のON/OFF設定はできません。		●	●	—	—	—	—	—	—	—	—
「M」	「マルチバンドモードです」 ・初期設定は、 ソーラーモード：①～⑥の5バンドがON設定、 ハイブリッドモード：①～⑩の10バンドがON設定になっています。 ・それぞれのバンドは個別にON/OFF設定できます。		○	○	○	○	○	—	—	—	—	—
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			(ハイブリッドモード)									

<各種無線を個別にON/OFF設定するには…>

① UHF/VHFスイッチをOFFにする

② テスト&ミュートボタンを押しながら、UHF/VHFスイッチを「S」または「M」にする
『ブピップピッ』という音がし、バンド選択モードになります。

《バンド選択モードについて》

- ・モード中は、レーダーおよび無線の警報はしません。
- ・モード中は、それぞれのバンドのON設定を、感度ランプとUHF/VHFランプで表示します。
- ・モード中、テスト&ミュートボタンと受信感度セレクトボタンが押されない状態が約10秒間続くと、モードは解除されます。→モードが解除されると、ターン・オン・ボイスが鳴ります。

③ テスト&ミュートボタンを押す

押すたびに、①「取締無線」のON/OFFが切り換わり、ボイスでお知らせします。
『トラップ ONです』⇄『トラップ OFFです』

④ 受信感度セレクトボタンを押す

次のバンド②「カーロケ無線」に切り換わります。

⑤ テスト&ミュートボタンを押す

押すたびに、②「カーロケ無線」のON/OFFが切り換わり、ボイスでお知らせします。
『カーロケ ONです』⇄『カーロケ OFFです』

⑥ 同様に④と⑤の操作を繰り返す

無線10バンド	テスト&ミュートボタンを押すたびに…
①「取締無線」	『トラップ ONです』⇄『トラップ OFFです』
↓ SENS を押す	📶 緑点灯 🗣️ —
②「カーロケ無線」	『カーロケ ONです』⇄『カーロケ OFFです』
↓ SENS を押す	📶 赤点灯 🗣️ —
③「デジタル無線」	『デジタル ONです』⇄『デジタル OFFです』
↓ SENS を押す	📶 オレンジ点灯 🗣️ —
④「取締特小無線」	『特小 ONです』⇄『特小 OFFです』
↓ SENS を押す	📶 オレンジ点滅 🗣️ —
⑤「ヘリテレ無線」	『ヘリテレ ONです』⇄『ヘリテレ OFFです』
↓ SENS を押す	📶 緑点灯 🗣️ 緑点灯
⑥「署活系無線」	『署活系 ONです』⇄『署活系 OFFです』
↓ SENS を押す	📶 赤点灯 🗣️ 緑点灯
⑦「レッカー無線」	『レッカー ONです』⇄『レッカー OFFです』
↓ SENS を押す	📶 オレンジ点灯 🗣️ 緑点灯
⑧「消防無線」	『消防 ONです』⇄『消防 OFFです』
↓ SENS を押す	📶 緑点灯 🗣️ 緑点滅
⑨「消防ヘリテレ無線」	『消防ヘリテレ ONです』⇄『消防ヘリテレ OFFです』
↓ SENS を押す	📶 赤点灯 🗣️ 緑点滅
⑩「新救急無線」	『救急 ONです』⇄『救急 OFFです』
↓ SENS を押す	📶 オレンジ点灯 🗣️ 緑点滅

①→⑩の順番で個別にON/OFFの設定をします。⑩「新救急無線」の後は、①「取締無線」に戻ります。

＜各種無線を受信すると…＞

無線10バンド	⑩ ボイス	📶 UHF/VHFランブ
①「取締無線」	『ビビビビッ トラップ 受信しました』	緑/点滅
②「カーロケ無線」	『ビビビビッ カーロケ遠方受信です』または『ビビビビッ カーロケ近接受信です』	
③「デジタル無線」	『ビビビビッ デジタル 受信しました』	
④「取締特小無線」	『ビビビビッ 特小 受信しました』	
⑤「ヘリテレ無線」	『ビビビビッ ヘリテレ 受信しました』	
⑥「署活系無線」※	『ビビビビッ 署活系 受信しました』	
⑦「レッカー無線」※	『ビビビビッ レッカー 受信しました』	
⑧「消防無線」※	『ビビビビッ 消防 受信しました』	
⑨「消防ヘリテレ無線」※	『ビビビビッ 消防ヘリテレ 受信しました』	
⑩「新救急無線」※	『ビビビビッ 救急 受信しました』	

📶 それぞれの無線の内容は、聞くことができません。

※：ハイブリッドモード時
シガープラグコードを接続しているときで、それぞれの無線が「ON」に設定されているとき受信します。

- ・各種無線を一瞬でも受信すると、ボイスが1フレーズ鳴ります。
- ・30秒以内に同じ無線を受信しても、ボイスは鳴りません。
- ・ボイスが鳴っているときに、取締りレーダー波を受信すると、取締りレーダー波の警報音が優先されます。
- ・カーオーディオやカーナビ、その他、カーエアコン、電動ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、ボイスでお知らせしたり、誤警報する場合があります。あらかじめご了承ください。

1 取締無線

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線で連絡が行われることがあります。350.1MHz取締無線受信機能は、このような取締りに威力を発揮します。

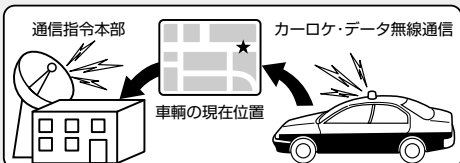
※ 取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線の他に、有線方式などもあり、受信自体ができない場合もあります。

2 カーロケ無線

カーロケターシステムとは、「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局（パトカー等）の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。カーロケターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の

周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。このように、事前に察知することにより、緊急車輛の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

- ・カーロケターシステムは、まだ導入されていない地域やシステムが変更になった地域もあり、すべての移動局に搭載されているとは限りません。また搭載車であっても、使用されていない場合がありますので、カーロケ無線を受信できないことがあります。
- ・受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズレる場合があります。



3 デジタル無線

デジタル無線とは、各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局

が近くにいる可能性が高いことを察知できます。カーロケ帯受信機能と同じように、事前に察知することにより、緊急車輛の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

4 取締特小無線

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線で連絡が行われることが一般的ですが、特定小電力無線が用いられる場合があります。

- ・取締り現場の連絡用として使われていない場合もありますので、ご了承ください。

5 ヘリテレ無線

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で、ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締りを行うときなどに地上との連絡用として使われる無線がヘリテレ無線です。

- ・一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

6 署活系無線

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使われる無線が署活系無線です。

7 レッカー無線

主に関東/東海/阪神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用しています。このため他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがあります。予めご了承ください。

8 消防無線

消防車が消火活動時や、活動後に消防署に帰るまでに連絡用として使われる無線が消防無線です。

予め受信察知することにより、消防車の通行の妨げにならないようにするためのものです。

9 消防ヘリテレ無線

ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われる無線が消防ヘリテレ無線です。

- ・一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

10 新救急無線

救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。

予め受信察知することにより、救急車の通行の妨げにならないようにするためのものです。

2. カーロケ遠近識別+圏外ボイス通知【特許出願中】

407.7MHz帯の電波を受信したとき、その発信元が遠方のときは、『ピッピピッ カーロケ遠方受信です』とボイスでお知らせします。【カーロケ遠方受信】
また、発信元が近接しているときは、『ピッピピッ カーロケ近接受信です』とボイスでお知らせします。【カーロケ近接受信】

このように、発信元の遠近を自動識別してボイスでお知らせします。【カーロケ遠近識別】
更に、[カーロケ近接受信]後の電波の受信状況により、発信元が圏外になったと思われる場合、『ピッピピッ ビーピッ カーロケ圏外です』とボイスでお知らせします。【圏外ボイス通知】



カーロケ遠近識別+圏外ボイス通知により、
ストレスモード⇄リラックスモードのスムーズな切り換えを促し、
より快適で安心な運転をアシストします。

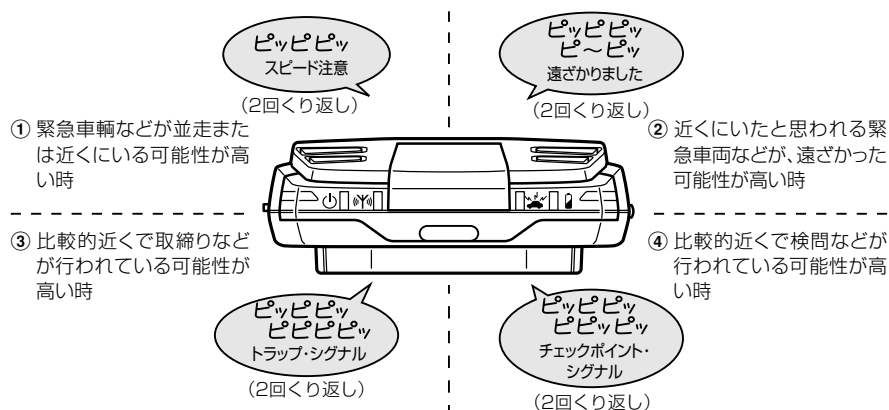
3. ベスト・パートナー 4識別警報【特許出願中】

カーロケ無線、取締無線、デジタル無線などの無線の受信状況からシミュレーションし、快適ドライブのベスト・パートナーとして、安全走行のためのタイムリーなアドバイスをボイスでお知らせします。【特許出願中】

1 「取締無線」「カーロケ無線」「デジタル無線」の設定をすべて「ON」にする

・いずれかの無線がOFFの状態では、一部のベスト・パートナー機能が動きません。

種々の無線を受信すると・・・



・③&④のボイスによるお知らせから、しばらくの間、レーダー受信感度モードがスーパーエクストラモードとなります。(但し、MACシステムがON(設定)のとき。➡11ページ)

※ボイスによるアドバイスがあっても、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。



muPass/サウンド書きかえシステムとは…

ケータイでmuPassサイトへアクセス。お好みのサウンドを選ぶ。
赤外線通信で製品に転送。これだけで手軽にサウンドの書きかえ完了。
最新曲や有名人ボイスなど、1000曲以上のラインアップの中から、
お好きなメロディやボイスに書きかえて警報・警告することができます。
これで無機質な電子音や内蔵の固定ボイスとはおさらば！
muPassを利用するには、muPassサイトで入会登録(月額315円300ポイント)の必要があります。
※muPassは株式会社サミーネットワークスが開発した次世代のシステムです。



※赤外線通信機能がある携帯電話でご利用ください。

◆muPassで書きかえられるのは…

- ① ターン・オン・ボイス(➡9ページ)
- ② カスタム・メロディ・アラームのメロディ(➡10ページ)
- ③ カスタム・ボイス・アラームのボイス(➡10ページ)

<muPassが利用できる携帯電話は…>

- ① DoCoMo(ドコモ)、au(エーユー)、vodafone(ボーダフォン)のいずれかであること。
 - ② iアプリ、Brewアプリ、Vアプリのいずれかが使えること。
 - ③ 赤外線通信機能が付いていること。
- ※上記3つの条件にあてはまっても、サービスを受けられない場合があります。
詳しくは、muPassサイトでご確認ください。

<muPassを利用するには…>

次のような流れで、muPassを利用できます。
製品に同梱のmuPassマンガ取扱説明書もあわせてご覧ください。

1. muPassサイトにアクセス
2. muPassサイトへ入会登録
3. リモコンアプリの入手～サウンドのダウンロード
4. リモコンアプリの起動～製品チェック[サウンド書きかえ場所指定]
5. サウンドの赤外線転送～[サウンド書きかえ完了]

ity.クラブ登録特典!

あわせてity.クラブ/muPassサービス登録(無料)した方にだけ、新曲情報や新しいボイスなどのホットな情報やity.クラブ特典のお知らせなどがメールで送られてきます。

携帯電話(iモード/Vodafone live!/EZweb対応)から…

宛先に「yupiteru@mo-on.com」、件名または本文に「登録」と入力し、メールを送信してください。しばらくすると、確認のメールが返信されますので、登録画面に仕上がって、必要事項を入力してください。



宛先	yupiteru@mo-on.com
件名	
登録	
本文	
登録	

●メールの返信が届かない場合は…

迷惑メール対策で、ドメイン指定受信を設定していないか、確認してください。
設定されている方は、「@mo-on.com」からのメールを受信できるように設定してから、メールしてください。
※ドメイン指定受信については、携帯電話会社へお問合せください。

パソコンから…

ホームページのユピテルity.クラブから、登録してください。

<http://www.yupiteru.co.jp/>

●その他のご不明点については…

ユピテルity.クラブ窓口へお問い合わせください。
054-283-5792
ity.club@yupiteru.co.jp

1. muPassサイトにアクセスする

DoCoMo(ドコモ)、au(エーユー)、vodafone(ボーダフォン)のいずれかの各公式サイトにアクセスします。

DoCoMo	au	vodafone
http://i.mupass.net	http://e.mupass.net	http://v.mupass.net

《アクセス方法》

- ・DoCoMo … [iメニュー] → [メニューリスト] → [着信メロディ/カラオケ] → [J-POP] → [muPassサウンド]
- ・au … [EZトップメニュー] → [カテゴリで探す] → [着信メロディ] → [J-POP・総合] → [muPassサウンド]
- ・vodafone … [メニュー] → [vodafone live] → [メニューリスト] → [着うた・着信メロディ] → [J-POP・インディーズ] → [muPassサウンド]

※ アクセス方法は携帯電話会社の都合により変わる場合があります。あらかじめご了承ください。

2. muPassサイトに入会登録する

携帯電話の画面に従って進みます。



3. リモコンアプリを入手(ダウンロード)する

入会登録完了画面から、続けてリモコンアプリのダウンロードができます。

- ・メロディやボイスなどのサウンドを赤外線転送するとき必要になります。

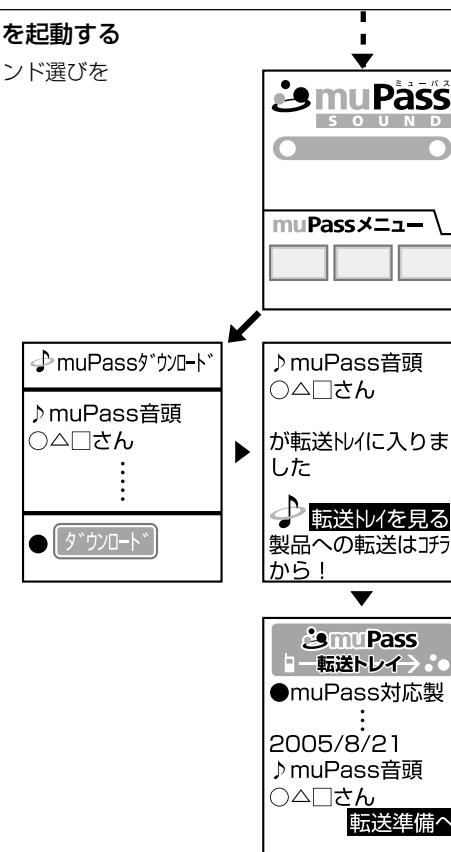
4. サウンドをダウンロードし、リモコンアプリを起動する

- ・「YUPITERUレーダー探知機コーナー」でのサウンド選びをおすすめします。

① サイトから、お好みのメロディやボイスを選びます。

② 選んだサウンドをダウンロードします。
ダウンロードしたサウンドは製品に転送されるまでは、転送トレイに保存されます。

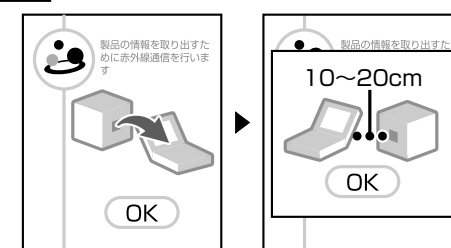
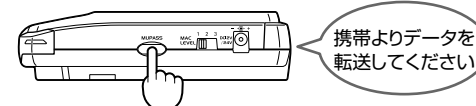
③ 転送トレイにて、書きかえたいサウンドの下にある「転送準備へ」を押してリモコンアプリを起動します。



5. 書きかえる場所を選択する 1度目の赤外線通信

① 「製品の情報を取り出すために赤外線通信を行います」
→「OK」と進みます。

② muPassボタンを長押し(約1秒間)します。
「赤外線通信モード」になり、本機から「携帯よりデータを転送してください」とボイスがします。
・モード中は、レーダーおよび無線の警報はしません。



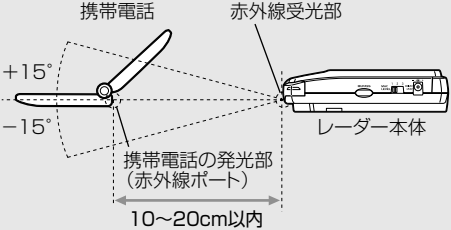
③「製品との赤外線通信を行います」

→「OK」と進みます。

- 「携帯電話を製品の赤外線受信部に向けてから通信を開始してください。通信完了音でお知らせします」および「間隔は10～20cm」と表示されます。

携帯電話の発光部を本機の赤外線受光部に向けて、約10～20cm離して、水平より上下15°以内(転送可能角度範囲)で通信を行ってください。

※ 携帯電話の赤外線ポートの場所は機種により異なりますので、事前によく確認してから通信を行ってください。



※『携帯よりデータを転送してください』のボイスから10秒以内に通信を開始してください。モードが終了すると、ターン・オン・ボイスがします。「転送に失敗しました。」と表示が出たら、①からやり直してください。

④「製品の中のサウンド保存先を選びます」

1. 電源オンです ……[ターン・オン・ボイス]
2. ボレロ ……[カスタム・メロディ・アラーム]
3. スピード注意 ……[カスタム・ボイス・アラーム]
4. 警告1
5. 転送不可
6. 転送不可
- …
- …

※ 1～3の中から書きかえたい場所を選択します。4～は書きかえができません。

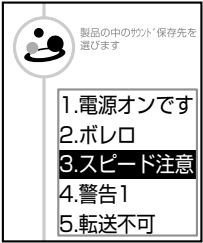
1、3は初期設定ではボイスが入っていますが、お好みのメロディに書きかえることもできます。

⑤「[※]を選びました」

→「OK」と進みます。

※ 1～3の中から選択した番号を表示します。

- 「ここに以下のサウンドを保存します。」と選択したサウンドを表示します。



6. 書きかえるサウンドを転送する 2度目の赤外線通信

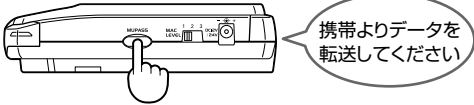
①「製品へサウンドを送るために赤外線通信を行います」

→「OK」と進みます。

② muPassボタンを長押し(約1秒間)します。

「赤外線通信モード」になり、本機から『携帯よりデータを転送してください』とボイスがします。

- モード中は、レーダーおよび無線の警報はしません。



③「製品との赤外線通信を行います」

→「OK」と進みます。

- 「携帯電話を製品の赤外線受信部に向けてから通信を開始してください。通信完了音でお知らせします」および「間隔は10～20cm」と表示されます。

※『携帯よりデータを転送してください』のボイスから10秒以内に通信を開始してください。モードが終了して、ターン・オン・ボイスがします。

「転送に失敗しました」と表示が出たら、①からやり直してください。

④「サウンド保存中です」と表示されます。

⑤「サウンドの保存が完了しました」と表示され、携帯電話から通信完了音がします。

- 本機から『電源ONです』とターン・オン・ボイスがします。ターン・オン・ボイスを書きかえた場合は、書きかえたサウンドになります。

※ 携帯電話をマナーモードにしていると、通信完了音が聞こえません。



7. 書きかえたメロディ、またはボイスを確認する

確認するメロディ、またはボイス	確認方法	参照ページ
ターン・オン・ボイス	一旦電源を切った後、再度電源を入れる	9ページ
カスタム・メロディ・アラーム	警報音セレクトボタンでメロディモードにし、テスト&ミュートボタンを押します。	10ページ
カスタム・ボイス・アラーム	警報音セレクトボタンでボイスモードにし、テスト&ミュートボタンを押します。	10ページ

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. 追走して測定する方法 (追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

※本機は取締りレーダー波を発射しているものについては後方受信します。また、カーロケータシステム搭載車の場合は、カーロケ帯受信機能により、警報することができます。

2. 距離と時間で算出する方法 (ループコイル式・LHシステム)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

※この方式は取締りレーダー波を発射しておりませんので、検知できません。

3. レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。



※現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流になると思われます。

取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

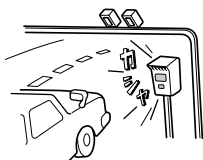
定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。取締りレーダー波は、直進性が強いいため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



自動速度取締り機(オービスⅢ)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



移動式

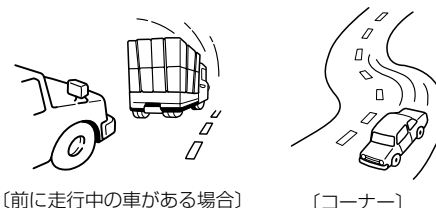
測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

●前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。

●対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。



電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輛通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

仕様

電源電圧	: DC 3.6V (専用ニッケル水素電池 1.2V×3) DC 12V/24V (シガープラグ入力充電電圧)	受信周波数	: [レーダー部] Xバンド/Kバンド [UHF部] 340~470MHz帯 [VHF部] 154~160MHz帯
消費電流	: 待機時: 7mA以下 (UHF/VHF部 OFF時) 最大: 200mA以下	動作温度範囲	: -20℃~+85℃ (UHF/VHF部: -10℃~+60℃)
受信方式	: [レーダー部] スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式	外形寸法	: 72(W)×21(H)×106(D)mm (電池部除く)
		重量	: 123g(電池含む)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

故障かな?と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症 状	チェック項目
電源が入らない	・バッテリーが消耗していませんか。シガープラグコードを使って充電してください。 ・オートパワーOFF機能が動いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源がOFFの状態になります。
充電できない	・太陽光を十分に当てても充電できないときは、シガープラグコードを使って充電できるか確認してください。 ・シガープラグで充電できないときは、シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
MACシステムやASS機能、オートパワーOFF機能が正常に働かない	・ご使用になる車種に合わせてMACレベルスイッチで振動の検出感度を設定してください。振動が極端に大きな車種や、走行中と停車中の振動に違いの少ない車種では正常に働かないことがあります。そのような車種では、MACシステムを解除してご使用ください。また、振動や騒音の激しい場所に駐車するときは、電源を切ってください。 ・警報中は音による振動を感知し、低速走行や停車しても警報が続くことがあります。こんなとき、警報をカットする場合は、テスト&ミュートボタンを押してください。
反応(警報)しない	・電源が入っていましたか。パイロットランプの点滅または点灯を確認してください。 ・警報機能が正しく動きますか。テスト&ミュートボタンを押して確認してください。 ・MACレベルスイッチが正しく設定されていますか。パイロットランプが赤色で点滅していませんか。パイロットランプが赤色で点滅しているときは警報しません。MACレベルスイッチを正しい位置に設定しなおしてください。MACレベルスイッチを切り換えても振動を検出しにくい場合は、取り付けかたを変えてみてください。 ・オートパワーOFF機能が動いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源がOFFの状態になります。走行中でもオートパワーOFF機能が働く場合は、MACレベルスイッチを設定しなおしてください。MACレベルスイッチを切り換えても振動を検出しにくい場合は、取り付けかたを変えてみてください。 ・取締りレーダー波が発射されていませんか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。(とくにオービスⅢではよくあります) ・取締りが「レーダー方式」で行われていましたか。
取締りもしていないのに警報機能が働く	・ローバッテリーアラームではありませんか。バッテリーランプが点滅しているときは、シガープラグコードを使って充電してください。 ・取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。 ——取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器—— ・電波式の自動ドア、防犯センサー／信号機の近くに設置されている車輛通過計測機/NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部/気象用レーダー、航空レーダーの一部/他のレーダー探知機の一部 ・まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなりランプ類も暗くなる	・レーダー波の受信が約30秒以上が続くと、バッテリーの消耗を抑えるために警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。
取締り現場なのに350.1MHzを受信しない	・UHF/VHFスイッチを「M」または「S」に設定していませんか。 ・取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。
ひんばんに無線警報する	・放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車のカーナビ画面、カーオーディオなどから強い電波が放射されている場合があります。 ・無線10バンドは個別にON/OFF設定できますので、あまりひんばんに警報するバンドはOFF設定にするなどしてください。

アフターサービスについて

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分

機器本体(消耗部品を除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

○保証期間中のとき

保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

●アフターサービス等についてご不明の点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所、サービス部にお問い合わせください。

ユビテルご相談窓口一覧

ご相談の受付時間は、月曜日～金曜日10:00～18:00です。ただし土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受け付けいたしておりません。お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

●製品の機能・仕様、取扱方法に関するお問い合わせ

……お客様ご相談センター TEL. (0564)45-5599

●修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011) 618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022) 284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03) 3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・長野	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052) 769-1601 〒453-0092 愛知県名古屋市中名東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06) 6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082) 230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092) 552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

- ・上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- ・電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。